

「飛べ！仲間たちよ」

山形商工会議所青年部会長

菊地 憲泰



山形商工会議所青年部創立30周年記念の今年、会長に就任しました。光栄であるとともに責任の重さをずっしりと感じております。

青年部は毎年、キャッチコピーとスローガンを掲げております。この機会に会員の皆さまに紹介いたします。キャッチコピーは「曙(あけぼの)」です。長い苦しい冬の時代を乗り越えて、新しい時代の夜明けを迎えようという思いです。

スローガンは「鳳雛(ほうすう)達よ 今こそ飛び立たん」としました。中国の伝説上のオオトリである鳳凰(ほうおう)のように、その雛(ひな)である私たちが一致団結し成長し、空高く羽ばたこうという願いです。

私は今年ちょうど40歳を迎えました。高校卒業後、米沢のソフトウェア専門学校に進みコンピューターを学び、東京・高田馬場にあるソフト会社に就職しました。時に日本はバブル経済の真ただ中。おまけに世の中はIT時代へと急速にシフトし始めており、コンピューターエンジニアとして順調に滑り出すことができました。ところが、就

職したその秋、バブルが弾けて会社が倒産してしまいました。夢を抱き東京に出て来た会社の仲間とはみな故郷に帰り、私は残って日本ジャーナリスト専門学校の講師として技術指導をしておりましたが、バブル崩壊に続く不景気で職を失い、やむなく山形に帰って来ました。

これは私たち世代の多くが体験している過程です。キャッチコピーを「曙」に、スローガンを「鳳雛達よ 今こそ飛び立たん」とした裏には、こうした厳しい時代を経て、今まさに社会の中堅にいる私たち世代が元気を出して閉塞感を打ち破ろうという決意でもあります。

帰郷後、企業の情報システム関係に携わっていました。ちょうど西暦2000年問題の時期でした。猛烈な忙しさで家に帰るのもままならず、子どもの顔を満足に見られない日々が続き、ついに無理がたたって入院。勤め先の理解もあり独立しました。今年で13年目となります。

独立するに当たって心に誓ったことがあります。「正社員以外は雇わない」、「雇った以上は退職するまで面倒を見る」ということです。いろんな考えはあるでしょうが、バブル崩壊後、「終身雇用」が片隅に追いやられ、「派遣」という言葉がやたらに飛び交っている現状に納得ができませんでした。終身雇用は日本の誇るべき制度です。責任ある仕事をしてもらうには身分を保証してあげなければならないし、それが業績向上に結び付くはずです。ボーナスなどももらったこともない不安定な状態に置かれていた体験からも、歯を食いしばってもその事だけは守ろうと思っています。

間もなく山形花笠まつりを迎えます。文翔館前広場で3日間にわたって「食フェスタ」を開催します。一方、「日本一の芋煮会フェスティバル」まで1カ月となりました。今年でちょうど25周年を迎えます。青年部諸先輩の努力が実り、今や全国にその名をとどろかせるビッグイベントに成長しました。現在、実行委員会を中心に準備に拍車を掛けています。同時にさらなるイベントの発展と他行事との連携をめざし、来年から開催日を2週間後ろにずらし、9月の第3月曜日(敬老の日)前日の日曜に開催する方向で詰め調整に入っています。

青年部の大先輩である清野会頭は「活力を創る～賑わいのある街」を指針に掲げています。その先兵としての役割を果たす時期到来です。

(有)ピーシーエー代表取締役